

10月30日(日)



新米に合う
絶対旨いシリーズ
最終章

旨い
旨い
旨い
旨い
旨い

※生で販売しますので
ご自宅で焼いてください

1パック(5切入)

680(税込)円

西田鮮魚店 072-5246

御用聞き便専用番号 ☎090-7125-5489 (旧庄原市内はご自宅に配達)

御用聞き便ポイントカード 火・水曜日ポイント2倍

新米に合う絶対旨いシリーズ最終章。
とある「日」。「店長、広告何にしますか？決まりましたか？」する
と、「まだ。逆に何がいい?」「え??逆??」「こんな質問の答えある
??と、心の中の叫びです(笑)。
「んー?!ぶり」。ここ最近毎日のように入荷がある北海道の
天然ぶり。8キロ、10キロの大きさ。脂もつぎ、切っている時
も包丁にくっつき直切りにくい。美味しさが伝わってくる。
「刺身?ぶり丼?いや。なんか違う。」新米と食べて貰いたい。米
に合う商品。頭をふる回転して考えます。
先月29日(肉の日)に、五日市店のミートファクトリーに店長と
行ってきました。肉の日があるので、魚の日があつてもいいんじゃない
んかなと思いつつ視察に。すると、外で焼かれていた、豚のスペ
アリブの照焼の匂いにそそられ購入。車の中で速攻かぶりつく私た
ち。手は、ベタベタですが(笑)。
旨い。この照焼加減、タレの甘み。あつ、これだ!照焼?!この出会
いをこのこと、コラボさせます。ぶりと照焼。ぶりの照焼。これ絶対旨
いやつ。ご飯が進みます。帰って焼いてください。
そして、本日県立みよし公園で開催されています「みよしマルシ
エ」に参加しております。初の三次進出!!
以前広告でも販売した、三良坂の麦麦さんのパンを使用したサ
バガーを販売中です。ハロウィンとあり、鮮魚のスタッフ2名が仮
装して販売しておりますので、是非行ってみてください。

西田鮮魚店 副店長 越道 裕子

『ライオンズ国際平和ポスターコンテスト 参加者271人』

鮮コーポレーション(株) 代表取締役会長 西田 昌史

毎週月曜日の10時からジョイフルの会議を行います。出席者は西上副理事長、小森館長、倉本部長と私の4人。すこし早く来た西上さん、「いやあ忙しかった」と感慨深げ。聞くと、この秋、二つの大きなイベントを引き受けていたのだとか。

一つは、『庄原ライオンズクラブ・60周年記念祝賀会』。10月16日(日)庄原グランドホテルで盛大に開かれたそうです。60周年かあ、時はいつの間にか流れ去っています。

考えてみれば、この年に生れた赤ちゃんが還暦になっているということ。昭和37年生まれの人たちです。そういう私は古希。10才の頃、『庄原ライオンズクラブ』は平均年齢71才。67才の西上さんが、いまだに若手なのだと笑わせていました。ライオンズクラブのモットーは『われわれは奉仕する。We Serve』。

60年間という長い歴史の中で、延べ200人以上の人がライオンズの活動に参加されていたとも。

庄原市に、そんな団体があり続けている、その時間そのものに意味があるような気がします。

そんなライオンズクラブが主催する、庄原市の小・中学生による『ライオンズ国際平和ポスターコンテスト』。が西上さんを忙しくさせた、もう一つのイベント。

10月25日(火)の中国新聞の県北欄に紹介されていました。ジョイフルの『プリンセスガーデン』の壁いっぱい、ところ狭しと217枚の絵が貼られました。

庄原中学校の一年生と庄原小学校・永末小学校・高小学校・峰田小学校・板橋小学校・東小学校の六年生の子供たちの作品です。ジョイフルでは、全員の応募作を、一枚残らず展示していました。

タイトルにあるように、『平和』がテーマ。

何年前か、一回目の『国際平和コンテスト』を催された時、応募作は一枚きりだったそうです。それが、今は217枚を越す応募。それだけ、日本の平和が脅かされていると感じることが増えているのかもしれない。

隣の『鬼滅の広場』には、『色鉛筆・クレヨンアートアニメイラスト大募集』の応募作品が飾られています。こちらは、年齢もさまざま、『夏』というテーマこそあれ、とくべつな思いが込められたわけではありませんが、不思議ですね。どちらの絵にも『平和』が感じられます。

正面切って『平和』を訴える『国際平和ポスター展』、なにげない表現の中に『平和』を感じさせる『アニメイラスト大募集展』。なにはともあれ『平和』でなくては何も始まりません。

私は『平和』を考えると、ジョン・レノンの『イメージン』が浮かびます。そして、毛利衛さんの言葉も。

イメージン ジョン・レノン

想像して 国なんてないと 難しいことじゃないさ
殺める理由も死ぬ理由もない そして宗教もない
想像して すべての人々が ただ平和に暮らしていると

毛利衛さん(宇宙飛行士)

宇宙から国境線は見えなかった

あるはずもない国境線を引き、広げようと、人を殺し、建物を破壊し、大自然さへ廃墟とすることを厭わない。何千年も飽くことなく繰り返す戦争。狂気としか言いようがありません。

この作品展の作品の多くに国旗が描かれていました。そして、その真ん中に地球。同時に、握手する二本の腕。

もし、ジョン・レノンが歌うように地球に『国家』というものが無くなれば、戦争は消えてなくなるのかもしれない。子供たちの絵から国旗が消えたなら、その時は、地球がひとつになって、戦争という文字も消えてしまっているのかもしれない。まじめに、そんなことを夢想してしまいました。

西上さん、ライオンズクラブの皆さん。良い企画をありがとうございました。ジョイフルでの展示は27日まで。その後は、市役所のロビー、広島みどり信用金庫と移ります。この手紙が届く時には、市役所に展示してあります。ぜひ、見てあげてください。

世界を舞台に開催されているコンテストです。もしかしたら、もしかするかも……。



中学校の部 最優秀賞
柳原雪花さんの絵



小学校の部 最優秀賞
田岡千奈さんの絵